

## 月曜礼拝の法話

### 『おしゃかさまの生まれたときのお話～天下唯我独尊とは、諸行無常とは～』

4月8日は花まつりをしました。お釈迦さまの誕生日をお祝いする行事が花まつりです。お釈迦さまの生まれたときのお話をしましょう。

お釈迦さまはうまれてすぐに七歩歩いて「天上天下唯我独尊（てんじょうてんげゆいがどくそん）」とおっしゃられたそうです。いや、そんな、生まれてすぐに歩けるわけないし、ましてや言葉を言うわけないでしょう、と思いますよね。それはそうです。この話のはのちの世の人たちがお釈迦さまがどんな人だったのかを伝えたくてそんなお話を作ったのでしょう。

では、「天上天下唯我独尊」とはどういうことでしょうか。それは、私の命はこの世の中にただ一つしかない尊いありがたい大切な命なのですよ、という意味です。それは同時にあなたの命も大切ですし、ほかのどの命も大切な命なのです。お互いに大切にしようためのお釈迦さまの教えなのです。

また、お釈迦さまはこの世の中は「諸行無常」だと言われました。この世界は移り変わっていきます。ずっと同じものは何もありません。だから次にはもう会えないかもしれない今ここにあるものをいつくしみ、大切にするのはですよと教えられました。

お釈迦さまがこのように教えてくれたのは、私たちのためです。すぐに怒ったり落ち込んだり、素直に相手を認められないときがあり。そうやって苦しむ私たちに、そんなことない、あなたは今この世にたった一人、大切な命なのですよと励ましてくださるほけさまの世界を知らせてくださったのがお釈迦さまです。ぜひみんなでお祝いしてお礼をしましょう。